



# 栄養改善事業推進プラットフォーム (NJPPP)

## セミナーのご案内

# 「CSV(共有価値の創造) 経営 と栄養改善ビジネスの展開 に向けて」

日時：平成30年2月20日(火)  
13:30~16:45 (開場:13:10)

場所：TKP赤坂駅カンファレンスセンター  
東京都港区赤坂2丁目14-27 国際新赤坂ビル 東館 14F ホール14B  
<https://www.kashikaigishitsu.net/facilitys/cc-akasaka/access/>

主催：一般財団法人 食品産業センター (平成29年度農林水産省補助事業)  
栄養改善事業推進プラットフォーム (NJPPP)  
TEL: 03-3224-2337/ E-mail: [njppp@shokusan.or.jp](mailto:njppp@shokusan.or.jp)  
Webサイト: <http://njppp.jp/> (※最新情報を随時更新致します。)

定員：90名 (※定員になり次第、申込みを締め切らせていただきます。)  
対象：途上国・新興国での栄養改善ビジネスに関心を有する方等  
参加費：無料  
参加申込：裏面の申込書にご記入の上、お申し込みください。

## 【セミナーの趣旨】

2011年に提唱されたCSV(共有価値の創造)は、企業の事業活動を通じて社会的課題の解決に貢献することで、企業の持続的な成長を図りつつ、社会的価値を生み出すという経営戦略です。CSR(企業の社会的責任)に比べ、本業により近い形での戦略的展開を目指すものと認識されています。栄養改善分野においても、持続可能なビジネス展開を考える上で、CSVの概念はますます重要になりつつあります。

一方、先日東京で開催されたUHC(ユニバーサルヘルスカバレッジ)2017ハイレベルオフリングセッションにおいて、安倍総理大臣が「2020年、日本は人々の健康の基盤となる栄養分野の取組を促進するため、東京で栄養サミットを開催します。」と宣言したことを受け、今後、栄養改善分野での具体的な活動が一層活発になるものと思われます。

この度、食品産業センターでは、栄養改善ビジネスの国際展開支援事業の一環として、CSVに基づく経営と栄養改善ビジネスモデルの構築に資するよう、専門家にご登壇いただくとともに、参加者同士の意見交換を行うセミナーを開催します。ご関心のある皆様のご参加をお待ちしております。

## 【プログラム内容】

### 第一部

13:30～13:35 開会挨拶

13:35～14:05 CSV事業モデルおよび評価モデルの構築

(三菱総合研究所 氷川 珠恵 氏)

14:05～14:35 アフリカにおける食品企業の栄養改善事業のインパクト評価

(東京大学 櫻井 武司 教授)

14:35～15:05 食栄養分野における日越官民連携

(味の素ファンテーション 栗脇 啓 氏)

15:05～15:35 バングラデシュでの緑豆事業の展開について

(株式会社ユークレナ 佐竹 右行 氏)

15:35～15:45 休憩

### 第二部

15:45～16:30 グループディスカッションおよび講師との意見交換

16:30～16:45 質疑応答

16:45 閉会

※講演タイトル及び講師は都合により変更することがあります。

## 参加申込書

参加申込先 FAX: 03-3224-2397 E-mail: [njpppp@shokusan.or.jp](mailto:njpppp@shokusan.or.jp)

氏名:

所属先名:

電話番号:

E-mail アドレス:

お問い合わせ先: (一財)食品産業センター 海外室 山口  
〒107-0052 東京都港区赤坂1-9-13 三会堂ビル3階  
TEL: 03-3224-2337 / E-mail: [njpppp@shokusan.or.jp](mailto:njpppp@shokusan.or.jp)